

茨城県金融広報委員会  
鹿嶋市立豊郷小学校

## ■実施報告

### 「金銭教育研究発表会（鹿嶋市立豊郷小学校）」（10月14日開催）

#### 【学校の特徴・概要】

鹿嶋市立豊郷小学校は、1889（明治22）年に現在の須賀の地に田谷尋常小学校・沼尾尋常小学校両校の統合小学校として設立し、今年で設立131年目を迎える大変長い歴史と伝統のある学校です。周囲は水田に囲まれ、米づくりが盛んに行われており、自然に恵まれた地域です。3世代家庭が多く、子ども達は家庭や地域の愛情に支えられながら成長しています。

自然に恵まれている反面、学区には商店が少なく、日常的に自分で考えて金銭を扱う機会が乏しい環境にあります。また、市街地から離れているため、金銭を通じた人とのやりとりや社会とのつながりを実感しにくい状況です。

10月14日（水）に金銭教育研究発表会を開催し、研究校として2年間（2019・2020年度）金銭教育に取り組んできた成果を発表しました。同時に、1年1組および6年1組で授業公開を行い、研究成果（授業公開の様態等）をライブ配信して市内の小・中学校と情報共有を行いました。

▼ 参加者内訳：児童132名、開催校教員12名、教育委員会2名、合計146名

#### 1. 研究概要の説明

金銭教育研究校の委嘱を受け、研究主題を「『豊かな心を育む金銭教育の在り方』～人や地域社会とのつながりを大切にした学習活動を通じて～」とし、金銭教育の研究に取り組んできました。研究を進めるにあたり、金融教育の概念を職員間で共有しました。その上で、「生活設計・家計管理に関する分野」「金融や経済の仕組みに関する分野」「消費生活・金融トラブル防止に関する分野」「キャリア教育に関する分野」についての確認を行いました。



目指すべき児童の姿を「ものやお金の価値を知り、健全な金銭感覚をもった児童」「限りあるものやお金を大切にし、有効に活用できる児童」「働くことの大切さを知り、自ら進んで働くことのできる児童」「身の回りの人、社会や自然に感謝する心をもった児童」とし、校内研究を進めてきました。

各教科・領域と金銭教育との関わりを明確にするために、金銭教育系統表を作成し、計画的に授業実践を行ってきました。また、本校の大きな行事である「豊郷まつり」では、全校で栽培してきたサツマイモを販売するなど、児童達は実際にお金のやり取りを体験する活動に取り組んできました。

## 2. 授業公開

- (1) 1学年では「ことばをあつめて おみせやさんごっこをしよう」という単元で、もの名前の上位語と下位語の関係を捉えたり、「お客さん」・「お店屋さん」が使う言葉を考え、実際に使ったりする学習活動を行いました。

公開授業では、「お店屋さん」の言葉についてグループで話し合いました。その後、自分たちの話し合いで出た「お店屋さん言葉」を実際に「おみせやさんごっこ」で使ってみる活動をしました。子ども達からは、「おすすめ」や「おいしいよ」という言葉を使うといいという意見が出ました。また「お客さんの目を見ることも大切」など、言葉だけでなくコミュニケーションの大切さに気付くことができました。活動を通してお店の人の工夫や努力なども実感を伴って学ぶことができました。

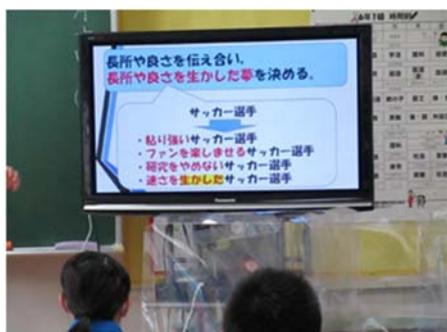


- (2) 6学年では「夢に向かって」と題して学級活動の授業公開を行いました。話し合いを通して、自分の長所に気付くとともに夢や目標の達成に向けてどのような努力が必要かを考え、意思決定することをねらいとしました。

以前とったアンケート結果を基に、自分たちが夢や目標に向け十分に努力していないことを確認しました。その上で、友達から見た自分の長所を知り、それらを生かした夢や目標について考えてきました。また、短所を補うためにどのような行動をとっていくべきかを友達と話し合い、具体的に決めていきました。

子どもたちは、活動を通して人との関りの大切さを改めて感じることができました。授業の最後には、一人暮らしのひと月当たりの平均生活費を知ることで、勤労の大切さを知るとともに、各自が意思決定したことをより一層実行しようとする気持ちを確かなものにすることができました。

一週間後の、実践報告では、意思決定したことを継続して努力しようとしており、一連の学習に意欲的に取り組むことができました。



### 3. 全体会

#### (1) 研究協議・分科会

「金銭教育の視点に立った授業づくりと手立て」と題し、KJ法を用いてテーマについて考えを出し合い、協議をしました。低学年ブロックでは、公開された1年生の授業において、「おみせやさんごっこ」での「ものとお金を交換する」活動では、「ものやお金の大切さに気付くことができました。」などの成果が得られたという意見が出ていました。また、さらに理解を深めていくための「体験学習の在り方」についての話し合いが行われました。高学年ブロックでは、6年生の授業から「職業と給与」についてや自己実現に向けて教師がどのような言葉かけが必要か等、たくさんの意見が交換され今後の課題としてまとめることができました。



#### (2) 講師指導・全体会

##### ① 茨城県鹿嶋市教育委員会教育指導課

本日の国語や学級活動の授業では、それぞれの教科の目的がしっかり押さえられた上で金銭教育の目標を達成することができていた。

##### ② 茨城県鹿行教育事務所学校教育課

新型コロナウイルスの対策等大変な中で、研究をよくまとめることができました。

##### ③ 茨城県金融広報委員会金融広報アドバイザー

年間計画に基づいた指導計画を立て、しっかりと研究を進めてきたから今日の授業があったと思います。



#### 4. プログラム

- 13：00～13：40 研究概要の説明  
主催者挨拶  
茨城県金融広報委員会副会長 鈴木 直行  
茨城県鹿嶋市立豊郷小学校校長 大川 雅教  
研究主題「豊かな心を育む金銭教育の在り方」  
～人や地域社会とのつながりを大切にした学習活動  
を通じて～  
発表者：鈴木 清彦（開催校教諭）
- 13：40～14：25 授業公開  
1年1組：国語科  
「ことばをあつめて おみせやさんごっこをしよう」  
6年1組：学級活動  
「夢に向かって」
- 15：00～16：25 全体会  
テーマ：「金銭教育の視点に立った授業づくりと手立て」
- 16：25～16：30 謝辞・閉会の言葉  
主催者挨拶  
茨城県鹿嶋市立豊郷小学校校長 大川 雅教

以 上